

**男** **女** 共同参画

# あすてっぴ

性別で生き方を決められることなく、ほくの力が発揮できる社会になればいいな。

将来、子どももほしいし、好きな仕事もずっと続けていきたいな。子育てと仕事が両立できる世の中になるといいな。

次世代を担う、  
そんな皆さんの希望がかなう  
まち「べっぴ」を目指して…



湯のまち「べっぴ」

第2次男女共同参画プラン

できました!

## 基本目標Ⅰ ★男女がともに暮らしやすい社会づくり



自分らしく人生が送れるように、お互いの個性を大切にしましょう。

子どもたちの男女共同参画意識を家庭、地域、学校などではぐくみましょう。

DVやセクハラ被害にあったら、一人で悩まず誰かに相談しましょう。

## 基本目標Ⅱ ★男女がともに働きやすい環境づくり



労働時間や評価方法を見直して、だれもが働きやすい職場環境を整えましょう。

個人の意欲、能力に合った採用や管理職への登用を進めましょう。

協力して「仕事」「家事」「地域活動」に取り組めるよう話し合ひましょう。

～最近、よく耳や目にする「ことば」の解説コーナー～

イクメン  
**育MEN**

子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと。  
または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のこと。

料理や掃除など、家事を楽しみ、積極的に取り組む男性のこと。

カジダン  
**家事男**

「あすてっぴ」の愛称…「あす」は明日と英語で私たちを表す us を意味し、「ステップ」は自分らしく自分の足どりで生きていこうという気持ちを込めて名づけました。

# 平成23年度 男女共同参画「標語・川柳」入賞作品



今年度もたくさんの作品が寄せられました。その中から、各部門の入賞作品をご紹介します。男女が、共に生活したり働いたりしていくためには、お互いの理解と思いやりが大切です。人それぞれ違うからこそ、素敵なハーモニーが奏でられるのかもしれないね。



## 小学生（1～3年生）の部

- 最優秀** かなでよう 男女なかよく 音楽を  
鶴見小学校3年 高木咲希さん
- 入選** あそぼうよ 性別気にせず かけだそう  
石垣小学校3年 丸山野虹輝さん
- 入選** たすけあい みんなの力で つながるよ  
緑丘小学校3年 鷺海翔凜さん
- 入選** 男のあそび女のあそび きめないでいっしょにあそぼう  
東山小学校2年 上園田心太浪さん

## 中学生の部

- 最優秀** 男女共 ともに歩んで 変わる明日  
東山中学校3年 瀧 龍馬さん
- 入選** 男女とも 心を一つに 助け愛  
青山中学校2年 櫻井結衣さん
- 入選** 母仕事 父子(おやこ)で作る 夕ごはん  
北部中学校2年 阿部 聖さん
- 入選** 認め合う 互いの存在 男女なく  
東山中学校1年 上園田さくらさん

## 小学生（4～6年生）の部

- 最優秀** おいしいね みんなで作った 夕ごはん  
石垣小学校5年 川添莉菜さん
- 入選** 男女みな いいところ見つけて わかりあう  
亀川小学校6年 三好カーメラロイスさん
- 入選** 区別なく なりたい職業 増やそうよ  
緑丘小学校6年 岡本侑子さん
- 入選** すきないろ べつにいいのよ ピンクでも  
鶴見小学校4年 井上咲優さん

## 高校生の部

- 最優秀** 始めよう 男も女も 「家事」「仕事」  
別府商業高等学校2年 藤本直人さん
- 入選** ともに考え ともに働けば きっと何かが変わるはず  
別府商業高等学校1年 佐藤ひとみさん
- 入選** 男女とも 互いに認め 助け合い  
別府青山高等学校3年 上野凌也さん
- 入選** ひかり出す 男女(われら)の未来に 壁はなし  
別府溝部学園高等学校2年 三原未駆音さん

## 大人の部・標語部門

- 最優秀** 性別に「らしさ」「くせに」はナンセンス  
別府市観海寺 重松裕治さん
- 入選** それぞれの 良さ足しあって よい社会  
別府市鉄輪東 榎崎好江さん
- 入選** 家事育児 無理なく分担 家族愛  
別府市京町 中西弘美さん
- 入選** 支え合い 男女で社会を 担い合い  
別府市大畑 加来和子さん

## 大人の部・川柳部門

- 最優秀** 育メンと 言われて夫 テレ笑い  
別府市南莊園町 糸永睦子さん
- 入選** 定年後 パパのエプロン 板につき  
別府市東莊園 衛藤芙美代さん
- 入選** 家事仕事 互いに助け 幸多し  
別府市南立石生目町 江藤和男さん
- 入選** ダンナ味 うま味の秘策は ほめ上手  
別府市石垣東 若原里美さん

## 2011べっぴん男女共同参画フォーラム “子どもを伸ばすお手伝い”

入場無料

ミリオンセラー「捨てる！」技術の著者、辰巳 渚(たつみなぎさ)さんが登場！

一人前の生活力。先のことを考えた行動力。家族や友だちを思いやる心。お手伝いができるようになると、子どもはこんな力を身につけ、たくましくなります。親は子どもに、どんなお手伝いをどうやって教えたらよいのでしょうか。一緒に辰巳さんの講演を聞いてみませんか？

**11/5** 13:30 開演(13:00開場)  
ニューライフプラザ  
(大分県立社会教育総合センター)

著書

「捨てる！」技術  
子どもを伸ばすお手伝い  
子どもを伸ばす手仕事・力仕事  
ほどほどのそうじのしかた ほか



講師  
家事塾代表  
消費行動研究家  
辰巳 渚さん